

第66期

四半期報告書

京写レポート

2023年4月1日から2023年9月30日まで

株式会社 京写

証券コード 6837



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第66期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）における事業の概況をご報告申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長
児嶋 一登

業績の概要

当第2四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界は、半導体不足の緩和により、自動車向けは回復が見られたものの、その他分野の在庫調整や巣ごもり消費の一巡の影響により、需要は減少しました。

また、世界的な金融引き締め等による景気の減速懸念や、急激な為替変動、エネルギー価格の高騰が続いていることから、依然として先行きは不透明な状況にあります。

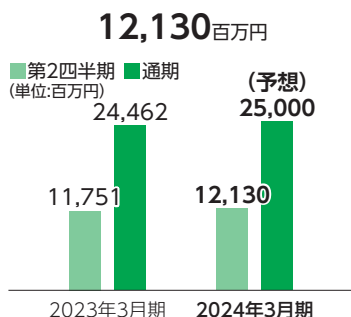
このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、主力の自動車関連分野の受注が回復したことで堅調に推移しました。実装関連事業では、産業機器、航空機向けの受注好調に加え、新規市場開拓により通信機器向けの受注が大幅に増加した結果、国内の売上高は前年同四半期を上回りました。

海外においては、中国で自動車関連分野の受注は回復したものの、事務機分野や電源等の電子部品分野を中心に受注が減少しました。一方、ベトナムでは、自動車関連分野の旺盛な需要と、サプライチェーン体制の再編により中国から生産移管を行い、受注が大幅に増加しました。

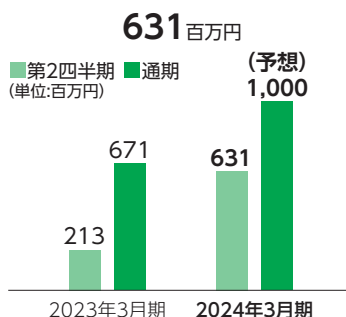
その結果、連結売上高は、12,130百万円（前年同四半期比3.2%増 379百万円の増収）となりました。

利益面は、電力料等の製造経費の高騰が続いたものの、ベトナムと実装関連事業は、引き続き大幅な増収により増益となり、好調に推移しました。中国は付加価値の高い金属基板が自動車向けを中心に売上を伸ばしたことで、受注にあわせてコスト改善を進めたことにより増益となりました。これらの結果、営業利益は631百万円（前年同四半期比196.0%増 418百万円の増益）、経常利益は441百万円（前年同四半期比105.3%増 226百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は287百万円（前年同四半期比291.7%増 214百万円の増益）となりました。

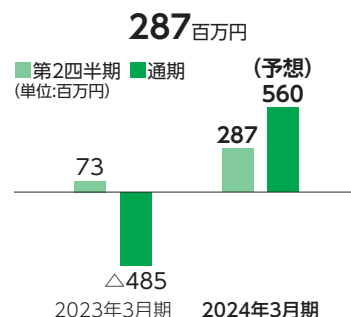
売上高



営業利益

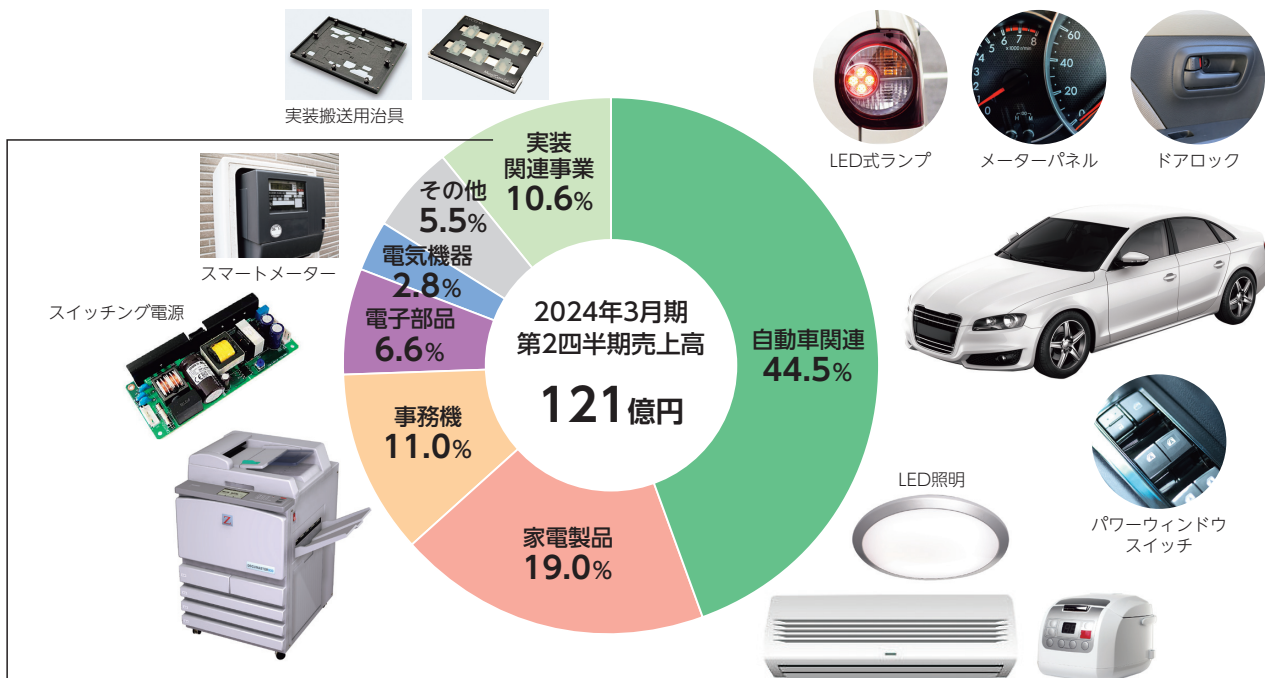


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



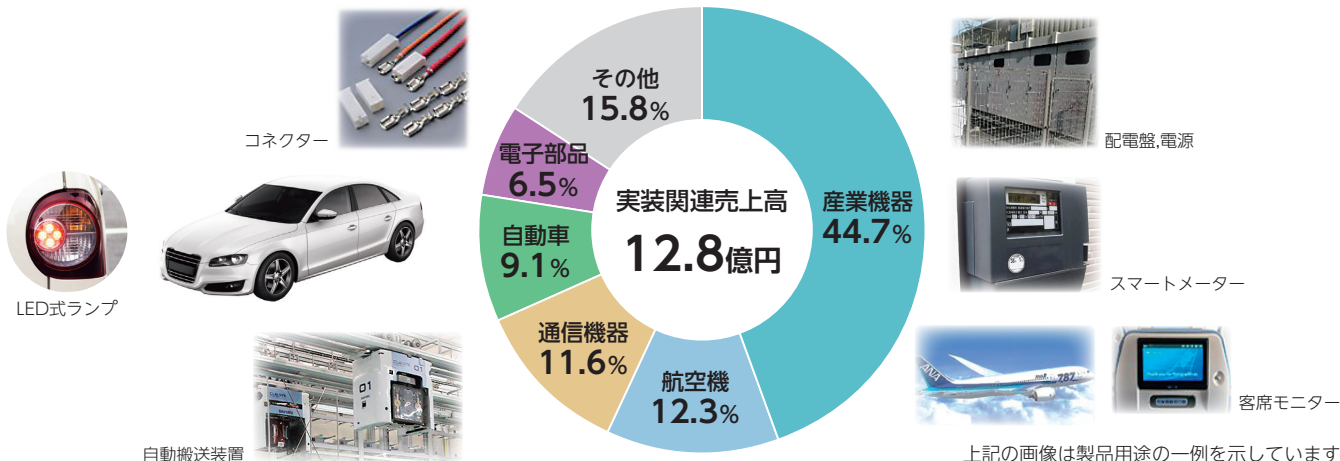
連結 用途別売上

成長分野の自動車関連や環境に配慮した家電製品向けを中心に幅広い用途に製品を供給



実装関連事業 用途別売上

主力の産業機器、航空機向けに加え新規市場開拓の通信機器向け好調

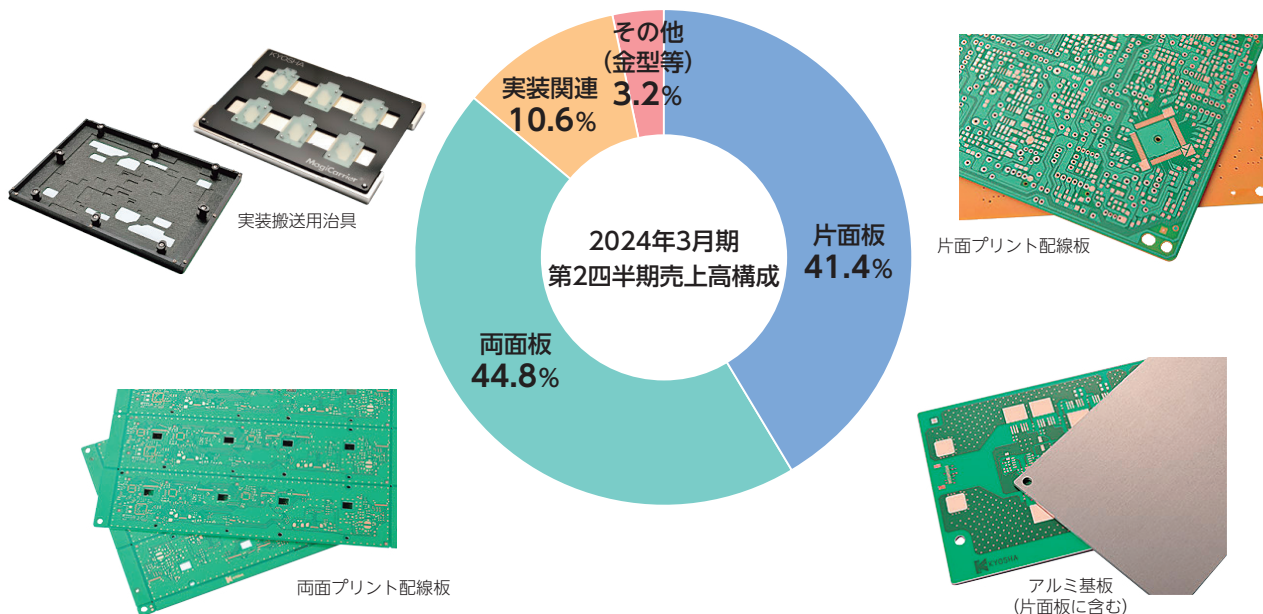


上記の画像は製品用途の一例を示しています

主要製品売上高構成

KYOSHA

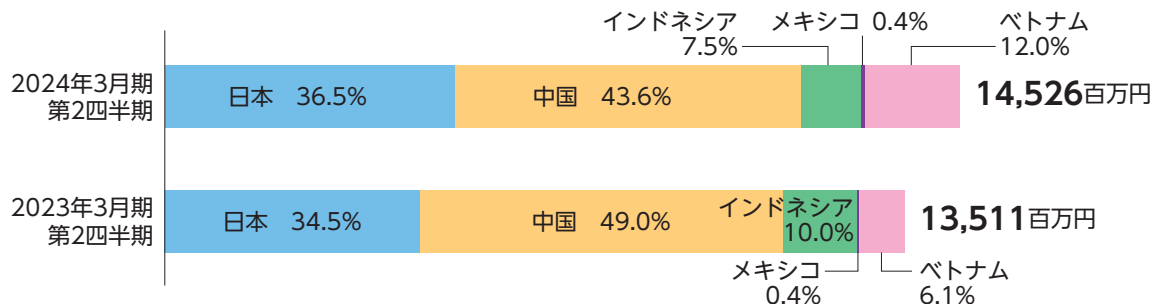
主要製品は3種類でこれまで最も多かった片面板から、ベトナム拠点の売上が寄与し両面板の割合が拡大



地域別売上高構成

KYOSHA

自動車関連分野を中心にベトナム拠点の受注大幅増加



※セグメント間の内部取引高を含む

TOPIC 1 京写ベトナム第2生産ライン稼働開始 自動車向けの需要拡大

京写ベトナムは、増設を進めていた両面プリント配線板の第2生産ラインが2023年8月に完成し、生産能力はこれまでの**2倍の月産4万㎡に拡大**しました。製品は主に自動車分野向けで、北米やタイ、インドネシア等のASEAN地域、日本に向けて供給を行っています。昨今では、経済安全保障の面から、自動車関連や家電、事務機メーカー並びにプリント配線板の材料メーカー等も生産拠点をASEAN地域へ移す動きが加速しており、顧客の旺盛な需要に応える重要拠点として、京写ベトナムは今後も事業拡大を目指します。

会 社 名：京写ベトナム (Kyosha Vietnam Co., Ltd.)

設立年月日：2019年1月25日

資 本 金：USD15,000,000

生 産 能 力：両面プリント配線板40,000㎡/月(2ライン)



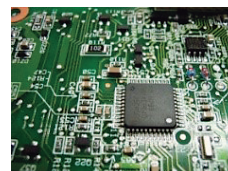
メッキライン

TOPIC 2 実装関連事業 三和電子のご紹介

三和電子は、実装EMSメーカーとして40有余年の歴史を持ち、現在では、航空機、産業機器、インフラ分野を中心に取引しています。これまで実装で培った管理システムと信頼性からお客様の要望もあり、完成品の組立てや金属の圧入や切削加工など、**実装を核としてその延長線上の関連事業まで幅広く展開**しています。



主な実装用途



実装とは：プリント配線板に電子部品をはんだ付けして電子回路を形成すること

生産活動においては改善に努め、工程間に仕掛品をつくらない“1個流し”や“工程間連結”は生産効率化、省人化を実現する他社にない創意工夫の成功例です。この様に品質は元より、リードタイムの短縮、新商品の垂直立ち上げ、コスト低減など総合的に連動させる「システム管理部」を独自で有するのも大きな強みです。また、ものづくり補助金を活用し、アナログ管理している部品保管庫を回転式自動収納倉庫へ変更することで、入出庫・在庫管理の自動化及び有効生産スペース拡大による生産性向上に努めています。

地球環境に配慮した取り組みとして、第1工場に845枚の太陽光パネルを敷設し、年間20万Kwhの発電と**161tのCO₂の削減**に努めています。併せてパネルの遮熱効果もあり使用電力削減に繋がっています。また、廃棄物削減に向け「社内ペーパーゼロ化」に全社で取り組んでいます。

会 社 名：三和電子株式会社 (岡山県 津山市)

設立年月日：1980年10月

資 本 金：1,500万円

事 業 内 容：基板実装・組立、実装搬送治具の製造及び完成品の組み立て



工場の屋根に設置の太陽光パネル



工場 全景

会社概要 (2023年9月30日現在)

- ・社名 株式会社京写
- ・本社 京都府久世郡久御山町森村東300番地
TEL:075-631-3191 FAX:075-631-7761
- ・設立 1959年2月14日
- ・資本金 1,102百万円
- ・従業員数 1,301名（連結）、276名（単体）
- ・事業内容 プリント配線板の製造及び販売、
実装搬送治具の製造及び販売
- ・拠点
製造 京都、熊本、新潟、神奈川
営業 京都、熊本、東京、愛知
- ・子会社
国内 三和電子（岡山）
中国：京写香港、京写広州、京写広州貿易
東南アジア：京写インドネシア、京写ベトナム、
京写タイ、京写マレーシア
北米：京写ノースアメリカ、京写メキシコ

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 58,000,000株
発行済株式の総数 14,624,000株
株主数 3,018名
大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
株式会社児嶋コーポレーション	2,048,000	14.2
児嶋雄二	1,055,800	7.3
株式会社エヌビーシー	524,000	3.6
児嶋淳平	494,000	3.4
児嶋一登	460,000	3.2
児嶋 亨	456,000	3.2
池田朋子	420,000	2.9
株式会社メイコー	273,600	1.9
株式会社三菱UFJ銀行	260,000	1.8
福田勝夫	250,000	1.7

(注) 当社は、自己株式163,887株を保有しており、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。

取締役及び監査役 (2023年9月30日現在)

- 代表取締役社長 児嶋 一 登
取締役 児嶋 淳 平
取締役 平岡 俊 也
社外取締役 日比 利 雄
社外取締役 飯島 貞 利
常勤監査役 桃井 茂 茂
監査役 奥田 茂 茂
社外監査役 高岡 謙 次
社外監査役 松阿彌 初 美

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会 6月
剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード
（証券コード：6837）
公告の方法 電子公告とし、当社ホームページ（<https://www.kyosha.co.jp/>）に掲載いたします。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。